



○ はじめに

- ・ ご支援いただいた皆様へ
- ・ 薄れつつある震災の記憶

▶ 2





夜を徹して行われた豊田浄水場内配管修繕

5

水道管の漏水被害



6

1 地震発生直後に何を思い、職員に何を指示したのか



地震発生直後の状況

8

▶ 7



9

地震による局庁舎の被害



10

水道局対策本部



対策を検討する職員

11



12

市民からの漏水通報対応



給水車による給水活動

13



給水袋による応急給水

14



水道局対策本部の様子

15

2 復旧に至るまでの苦勞



震災発生翌日の水道局給水所

17



水道局給水所の状況

18



開成山野球場給水所での給水活動

19



全国各地からの支援



20





原発事故後の水道局対策本部

21



← 原発事故前
(屋根なし)

原発事故後
(屋根設置)



22



寒さで凍結した給水所の解氷作業

23

豊田浄水場
薬品沈でん池、薬品混和池
の覆蓋状況



24

放射性物質に関する問合せ状況

	平成23年	3月22日	3月23日	3月24日	3月25日	3月26日	3月27日	3月28日	3月29日	3月30日	3月31日
問合せ件数	(件)	320	2,100	1,000	650	127	110	147	85	90	80
延べ件数	(件)	320	2,420	3,420	4,070	4,197	4,307	4,454	4,539	4,629	4,709

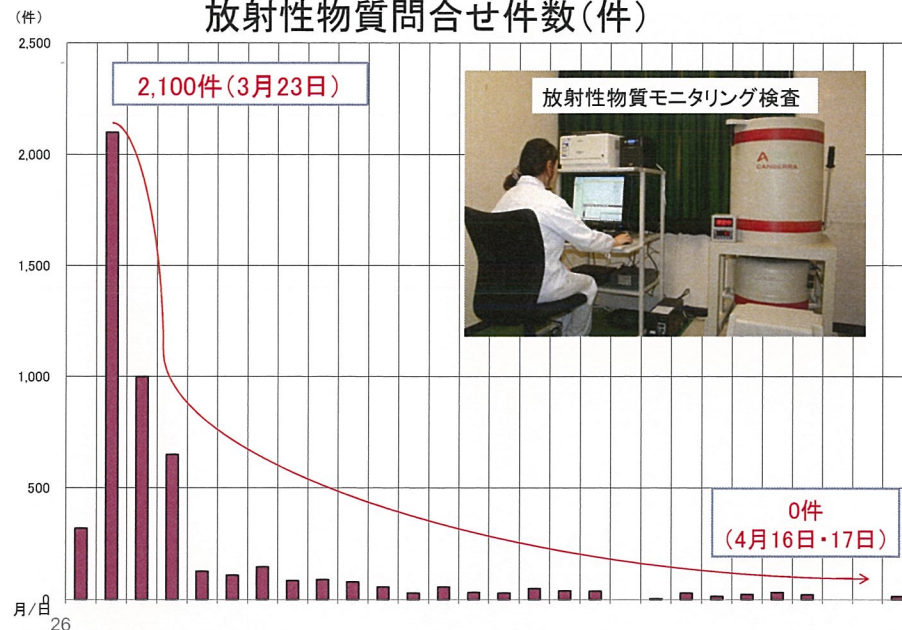
	4月1日	4月2日	4月3日	4月4日	4月5日	4月6日	4月7日	4月8日	4月9日	4月10日	4月11日
問合せ件数	57	30	57	32	30	50	40	38	0	4	30
延べ件数	4,766	4,796	4,853	4,885	4,915	4,965	5,005	5,043	5,043	5,047	5,077

	4月12日	4月13日	4月14日	4月15日	4月16日	4月17日	4月18日	4月19日	4月20日	4月21日	4月22日
問合せ件数	15	24	33	22	0	0	15	11	14	10	9
延べ件数	5,092	5,116	5,149	5,171	5,171	5,171	5,186	5,197	5,211	5,221	5,230

	4月23日	4月24日	4月25日	4月26日	4月27日	4月28日	4月29日	4月30日
問合せ件数	0	2	15	11	9	10	2	4
延べ件数	5,230	5,232	5,247	5,258	5,267	5,277	5,279	5,283

25

放射性物質問合せ件数(件)



3 応援を受けた側から



全国各地からの給水支援



28



原発事故後の水道局対策本部



応援部隊の宿泊場所

久留米市と鳥取市の給水車



横浜市の給水車



九州地方支部からの給水支援

久留米市職員による漏水調査



4 東日本大震災の経験から

○今回の震災で特筆すべき点

津波と「原発事故」で流通がストップ



ガソリン等の燃料、物資全般が不足



応急給水や復旧作業に大きな影響

▶ 33

東日本大震災の経験から・・・

「最低限、自分のところは自分で守る」

という自己防衛の考え方が重要。

▶ 35

▶ 34





5 郡山市水道の今後の備え等



郡山市の基幹管路の耐震化状況

平成23年3月末現在

1 配水管等種別内訳

種別	铸铁管	ダクタイル铸铁管	鋼管	ポリエチレン管	ステンレス鋼管	塩化ビニル管等	22年度末総延長
延長(m)	13,148	1,264,593	82,662	26,497	2,100	363,374	1,752,374
構成比率(%)	0.7%	72.2%	4.8%	1.5%	0.1%	20.7%	100.0%
	CIP	DIP+DIP(耐震)	SP	PP	SUS		

2 基幹管路の耐震化(基幹管路:導水管、送水管及び口径500mm以上の配水管)

種別	铸铁管	ダクタイル铸铁管	鋼管	ポリエチレン管	ステンレス鋼管	塩化ビニル管等	22年度末延長
延長(m)	4,539	55,203	65,140	62	271	395	125,609
耐震管延長(m)	0	15,106	65,140	62	271	0	80,579

耐震化率(%) **64.2**

※当時の基幹管路耐震化率(全国平均) 18.4%

役目を終えた豊田浄水場



統合先の堀口浄水場



猪苗代湖浜路取水場



猪苗代湖上戸頭首工



浄水池築造工事

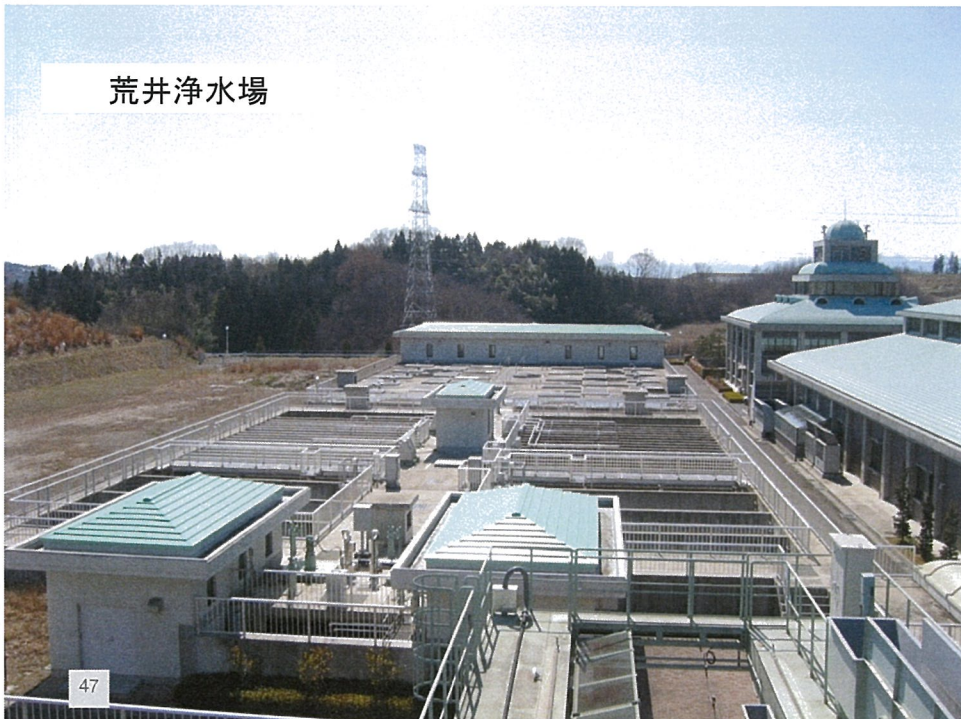
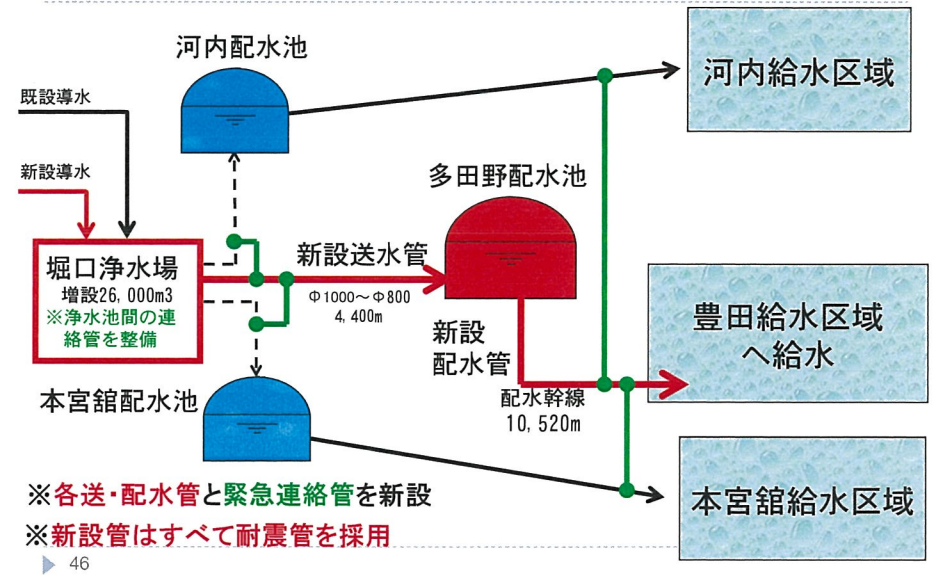


新たに整備した
多田野配水池
(容量10,000m³)





浄水施設統合によるリスク軽減対策



○ 結びに

- ・水道の重要性を再認識
- ・次の100年に向けて



ご清聴ありがとうございました。

震災当時の開成山野球場